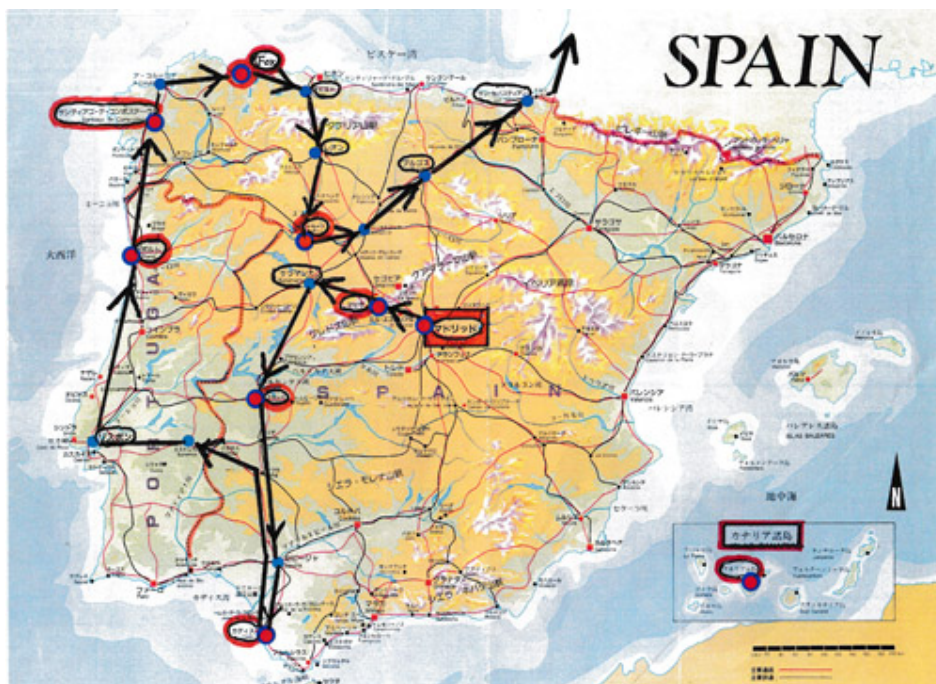


3616 欧州 18カ国の旅：足跡地図とスペイン気質

Where am I 今どこにいるのか地図の確認。今回はピンポイントの旅。
オビエドから、急遽、巡礼の道・レオンに立ち寄り、さらに南下。今から、サモラで宿泊。
同じ道でない、田舎道も厭わ^{いと}ない、未知の道のワクワク感。



上記は、イベリア半島、前半の旅。後半は、車返却でマドリードまで。
宿泊のサモラの先には、サラマンカ。そこからマドリードには高速道路が通じている。
サモラからブルゴスにコースをとることで、遠望だが、西や南東方向に、
雪をかぶった山々が見られるかもしれないと期待。

常々、環境が人を育む、と思うことが多い。普通とは？ 何を基準に？
国もいろいろ、人生もいろいろ。夢と現実。卓上の理屈と現場体感。違うことが多い。
日本海側と太平洋側、山陰と山陽、大都市と地方、
九州・四国と東北・北海道。東京・名古屋・大阪。世界も多種多様。

スペインの北と南。地中海アンダルシアを代表として「スペイン人は明るく陽気」の先入観。

しかし、北は頑固で寡黙なスペイン魂の住人が多い。その両面があると知った。

日々の生活に身を置かないとわからない。少しでも体感したい。宿泊することにした。

イタリアでも、北・ミラノと、南の地域は、違うと感じた。環境と状況。

ドウエロ川流域に広がるカスティーリャ・イ・レオンとその南、ポルトガル国境に接する地方は、ところどころに、オリーブやブドウ畑の緑が見られるが、そのほとんどは、赤茶けた不毛ともいえるような乾燥した大地が続く環境。



明るく陽気。他方、頑固で寡黙、スペインは、両面を持った国。

頑固で寡黙の性格は厳しい自然が育んだ風土から来ているのではないかと思った。

広範囲に街歩き。施設やバル、生活の場での人間ウォッチング。

若者と出会うことが少ない。この地も老齡過疎化？ 若者は都会へ、そんな推測が脳裏に。

しかし、健康意識が高いのか、公園内の運動器具が目についた。

ふと、日本はどうなっていくのだろう。着眼大局。小事実践。日々が大切。

